

患者さま・保護者のかたへ

「当センターにおける摂食嚥下機能療法初診患者の実態調査」の
ご協力をお願い

東京都立心身障害者口腔保健センター
歯科衛生士 前田 知美

平素より当センターの歯科診療にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。
今回、当センターにおける摂食嚥下機能療法初診患者の実態調査を行うこととなりました。
つきましては、以下の説明文をお読みいただき、充分ご納得していただいたうえ研究にご参加されるかのご判断をしていただければ幸いです。

研究課題名：当センターにおける摂食嚥下機能療法初診患者の実態調査

主任研究者 氏名：前田 知美
所属：東京都立心身障害者口腔保健センター
職名：歯科衛生士

研究期間 倫理診査承認日～令和9年12月30日

研究の意義と目的：

当センターは障害のある人の口腔機能向上を目的に、昭和62年4月から摂食嚥下機能療法外来（以下：摂食外来）を開設し、現在39年が経過しています。今回、令和4年4月から令和7年3月まで摂食外来を受診した初診患者の実態調査を行うことにより、近年の摂食外来受診患者の主訴や症状の特徴を把握し、患者のニーズに適応できる摂食外来のシステムや運用の改善につなげることを目的とします。

研究方法の概要：

令和4年4月から令和7年3月までの、摂食嚥下機能療法初診患者204名を対象とします。対象者の問診票・診療録・摂食指導記録用紙から以下の項目について抜粋し、集計します。

①初診時年齢 ②性別 ③疾患 ④主訴 ⑤摂食嚥下機能評価 ⑥粗大運動評価 ⑦栄養摂取方法 ⑧カウプ指数（0～5歳）ローレル指数（6歳から15歳）BMI（16歳以上）

資料（データ）の保管方法：

集計分析したデータは、センターのオフラインのパソコンに接続した USB メモリーに保存します。データ保存用の USB メモリーは、オフラインのパソコンで使用し、そのパソコンにはパスワードを設定し管理します。USB メモリー及びパソコンは、当センターの鍵付き書棚に保管します。

予測される危険や不利益：

本研究は、既存資料を用いた方法のため身体への危険性はなく、患者へのリスクや負担はないと考えます。

研究協力の任意性と撤回の自由：

この説明文書を読まれて、ご納得のうえでこの研究にご協力ください。研究にご参加されるかどうかは、あなたの自由意思でお決め下さい。この研究にご参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありません。この研究に同意されない方は令和 8 年 5 月 30 日までにご連絡ください。尚、ご連絡がない場合は、同意していただけたものとみなします。

個人情報の保護方法：

個人の特定につながる情報を保護するため、全てのデータの保存時は氏名やカルテ番号ではなく、ランダムに割り振った番号によって管理します。尚、記録した内容は、個人情報管理者が管理します。患者様の個人を特定される情報が外部に明らかになることはありません。

費用について：

当センター予算より支出します。尚、大変恐縮ですが謝礼金はございません。

この研究は令和 8 年 12 月 12・13 日、新潟県で開催される第 43 回日本障害者歯科学会で発表予定です。

連絡先 担当者氏名：前田 知美

所 属：東京都立心身障害者口腔保健センター

職 名：歯科衛生士

所在地：東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 8.9F

電 話：03-3235-1141